

第4回雲南市下水道事業に関する審議会 議事録

1. と き：平成26年5月15日（木） 午後1時30分～午後2時20分

2. ところ：雲南市水道局1階会議室

3. 出席者

（審議会委員）

金山壽忠会長、石橋正俊委員、永井尚二委員、坂田和子委員、
若槻三代子委員、坪倉要輔委員、本間良一委員

（委員7人）

（事務局）

稲田水道局長、岸野次長、土屋営業課長、飯島工務課長、須田下水道課長、新田GL
藤原統括主幹、山本副主幹技師（事務局8人）

[次第]

1. 開会（須田）

- (1) 欠席者の報告（若槻秀夫副会長、難波 勝委員、勝部新治委員、片寄健治委員、塔間絹子委員 5人）
- (2) 雲南市下水道事業に関する審議会条例第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席しており会議が成立していることを報告。

2. あいさつ

- (1) 金山壽忠 会長
- (2) 藤井 勤 副市長

3. 事務局職員自己紹介

-----以後、審議会条例第6条第3項に基づき、会長が議長となる-----

4. 審 議

会長

審議に入る。

平成26年度予算概要について事務局からの説明を求める。

事務局

- (1) 平成26年度予算概要について説明。

[質疑・応答]

会長

説明が終わったが、何か質問意見があるか。

一般会計繰入金と公債費が、ほぼ同額という事でよろしいか。

事務局

会長のおっしゃるとおり、グラフをご覧くださいますとその点が良くお分かり頂けます。

会長

ほかにないか。次に進めてよろしいか。

それでは、議題 2 平成 26 年度下水道主要事業について、事務局の説明を求める。

事務局

(2) 平成 26 年度下水道主要事業について説明。

[質疑・応答]

会長

説明が終わったが、何か質問意見があるか。

合併浄化槽について、毎年 50 基程度を整備しているが、今後の計画はいかに。

事務局

資料 4 の雲南市接続等状況から、25 年度末現在で 4,903 人、約 1,500 世帯程度の未設置がありますので、今後はその設置に向けて推進することになります。

会長

中々、大変な事である。

ほかにないか。次に進めてよろしいか。

それでは、議題 3 平成 25 年度下水道使用料過年度分（H24 年度以前分）収納状況について、事務局の説明を求める。

事務局

(3) 平成 25 年度下水道使用料過年度分（H24 年度以前分）収納状況について説明。

[質疑・応答]

会長

説明が終わったが、何か質問意見があるか。

坪倉委員

特定環境保全公共下水道使用料は、他に比較し収納率が低いようだが、改善できるか。

事務局

過年度分であるため、今後も難しい問題であります。また、大口滞納者という事もあります。

坪倉委員

大口滞納者とは、工業関係か。

事務局

会社関係も個人もあります。

会長

収納率 45.33%で目標の 40%を超えているという説明があつたが、あくまでも目標は 100%であるべきではないか。サービスの対価としていただく使用料であるから、過年度分としても 100%とすべきであると思うが、いかがか。

事務局

貴重なご意見を頂きました。徴収率 100%を目標に努力したい。

会長

目標は 100%として努力したが、結果が 45%となったという事であり、最初から目標が 45%

という考え方は改めるべきである。

ほかにないか。次に進めてよろしいか。

それでは、その他に入る。雲南市下水道施設の長寿命化（機能強化）について、事務局の説明を求める。

事務局

その他（１）雲南市下水道施設の長寿命化（機能強化）について説明。

[質疑・応答]

会長

只今説明を受けた長寿命化対策については、率直大変だなと感じた。

何か意見があるか、次に進めてよろしいか。

それでは、浄化槽の耐用年数について、事務局の説明を求める。

事務局

その他（２）浄化槽の耐用年数について説明。

[質疑・応答]

会長

説明が終わったが、何か質問意見があるか。

公共下水道と農集の接続について、現在は接続が可能か。

事務局

島根県では接続の例がありませんが、可能です。今年度に接続について検討いたします。

会長

経費節減に繋がる取り組みであるので、期待をする。

質問はないか。

-----「なし」との声あり-----

終わってよろしいか。

以上で審議を終了する。

会議終了

14 時 20 分